

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。

当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽  
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、  
よろしくご願ひ申し上げます。

敬 白

### 記

■ 実施日 平成 26 年 2 月 3 日 (月) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容 器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
64863	総 GIP	血漿 0.5	C ↓ X	凍結 (60日)	事前にご 確認くだ さい。		ELISA	(pmol/L)	活性型 GLP-1 (抽出 法)、活性型 GIP (抽出 法)、活性型 GIP (非抽 出法) と同時依頼される 場合は、あらかじめ冷却 した指定の容器 (D) に 採血し、30 秒以内に DPP-IV inhibitor (血液 1.0mL に対し 10μL) を加え、混和後速やかに 冷却遠心し、血漿分離し てただちに凍結保存して ください。&L

## ● 総 GIP

「活性型 GIP および不活性型 GIP」を測定する総 GIP を受託開始いたします。

インクレチンは、食事による血糖上昇に伴って分泌され、膵β細胞に作用してインスリン分泌を促進するホルモンです。主なインクレチンには GLP-1 と GIP があります。

このインクレチンの作用を利用したインクレチン関連薬が、糖尿病の新しい治療薬として 2009 年に認可されました。インスリン療法と異なり、低血糖を起こしにくく、抗肥満作用を持つなどの利点があり、急速に広まっています。しかし、利用されて未だ数年しか経ていない現在では、長期投与時の有効性や副作用などについて不明な点も多く、今後の研究の進展が期待されています。

また、インスリン分泌を促進するインクレチン作用以外にも様々な作用があることが解明されてきており、活性型および総インクレチン濃度の測定は、糖代謝研究において注目されています。

このたび受託開始いたします総 GIP は「活性型 GIP および不活性型 GIP」を測定対象とし、活性型 GIP と併せてご利用いただけます。

### ▼対象疾患

- 糖尿病

### ▼関連項目

- インスリン
- C-ペプチド (CPR)
- 活性型 GIP (抽出法)
- グルカゴン
- 活性型 GLP-1 (抽出法)
- 活性型 GIP (非抽出法)

### ▼検査要項

検査項目名	総 GIP
項目コード No.	6486 3
検体量	血漿 0.5 mL
容器	C → X
保存方法	必ず凍結保存してください。
所要日数	事前にご確認ください。
検査方法	ELISA
基準値 (単位)	(pmol/L)
実施料	未収載
判断料	未収載
備考	活性型 GLP-1 (抽出法)、活性型 GIP (抽出法)、活性型 GIP (非抽出法) と同時依頼される場合は、あらかじめ冷却した指定の容器 (D) に採血し、30 秒以内に DPP-IVinhibitor (血液 1.0mL に対し 10μL) を加え、混和後速やかに冷却遠心し、血漿分離してただちに凍結保存してください。&L

### ●臨床的意義参考文献

矢部 大介, 他: 医学のあゆみ 233 (5): 393~398, 2010.